

列島いんふおめーしょん

列島 information

10月号の主な話題&ふるさとだより

青 森	「ピノ・ノワール」で初の金賞！	石 川	新ブランド米は「ひゃくまん穀」
岩 手	“大阪の巨人”が釜石港に到着？	福 井	市公認キャラがLINE スタンプに
宮 城	C Fを使って温泉施設を構築	三 重	ジャズドリーム長島が巨大に
千 葉	千葉市マークが「初音ミク」に？	大 阪	市長専用車をヤフオクに出品！
神奈川	A I駆使してタクシー配車	兵 庫	地元老舗百貨店ラオックスが買収
山 梨	国産ワイン 140 周年を祝して	広 島	クロネコが県民サービスを支援
静 岡	キタオットセイの赤ちゃん誕生	徳 島	J R四国に新型特急がお目見え
富 山	市電の駅がドラえもん一色に	鹿児島	J A L が県産焼酎をPR



北海道

ゴールドラッシュに想い馳せて

紋別市 「東洋一」と呼ばれた、同市の旧鴻之舞鉱山。過去の栄光を後世に伝えようと、今年開山100周年を記念し8月18日記念碑の除幕式を開催。1917（大正6）年に住友金属工業が近代的な採掘を開始、1973（昭和48）年の閉山まで約73tの金を産出、埋蔵量も新潟・佐渡、鹿児島・菱刈に次いだ。またゴールドラッシュよろしく、同地の人口は最盛期1万3000人にもよ達したと言う。なお、開山当時の坑道内や賑わいを見せていた旧市街地の模様が彫られている記念碑は、高さ約2m、幅約4m。

青森

「ピノ・ノワール」で初の金賞！

むつ市 8月28日、「本州最北端ワイン」の下北ワインを手がけるサンマールワイナリー（本社・同市。北村良久代表取締役）は、自社製品「下北ワインRyo」で日本ワインコンクールで金賞、銀賞を受賞。同ワ

インはブドウの一品種「ピノ・ノワール」により造られるが、同品種由来で同コンカールの金賞を得たのは史上初。ピノ・ノワールはフランス・ブルゴーニュ原産で、芳醇高く最高級ワインの原料として世界的に珍重されるが、土壌を選び、皮が薄く直射日光の少ない冷涼が必須で病害虫に弱いなど、栽培が難しいことでも有名。同社はこれを1998年から栽培している。

岩手

大阪の巨人が釜石港に到着？

釜石市 8月17日、大阪・堺泉北港助松ふ頭で余剰となった大阪府所有の巨大ガントリークレーン（高さ56m、アーム長最大76m、重量597t）が、海路釜石港に到着。1995年の阪神淡路大震災の際にも同クレーンは、復興支援に活躍。昨年秋、東日本大震災復興の牽引役として同県が同府に協力を打診、府側は無償供与に応じたもの。韓国の船会社から釜石・釜山のコンテナ船航路開設の申し入れがあり、これに応じたものもある。同港には現在小型ジグクレーンのみで大量のコンテナ

の積み下ろしには難があった。9月下旬に供用開始予定で、ガントリーは同港にとっても初のアイテム。

秋田

女性社長の「量産」を全面支援

能代市 9月初め、能代商工会議所（本部・同市。広幡信悦会頭）は、能代商工会館に「女性創業支援室」を旗揚げ。商工会議所が同種の試みに挑むのは全国初。1階にあった研修室（約80㎡）をオフィススペースに改装、4企業分のデスク、電話、ロッカーを設置する他、共用商談室も配置。事業費は450万円だが、内250万円は同市と県から助成。創業希望や創業後3年以内の市民が対象で、オフィススペースの貸し出しや職員による経営指導も行なう。

山形

県が安心・安全農産物紹介のHP

山形県 8月24日、県は環境保全型農業情報ウェブサイトを「山形eco農家」を開設したと発表。農業・化学肥料の使用量削減と有機性資源活用による土づくりで健康・環境の

宮城

CFを使って温泉施設を構築

名取市 同市は、東日本大震災で大破した閑上（ゆりあげ）地区のサイクルスポーツセンターの復旧に関し、目玉として温泉施設の併設を計画するが、温泉掘削の費用の一部に



「山形eco農家」のHP画面（山形県）

福島

1世紀を視野に入れた壮大な基金

福島市 8月23日東日本大震災で被災した地域・住民の自立復興を支援する、一般社団法人ふくしま連携復興センター（本部・同市。天野和彦代表理事）福島大学つくしまふくしま未来支援センター特任教授）が「ふくしま百年基金」の設立を発表。地域再生に対し新アイデアで挑む人と、資金的に応援したい人の「橋渡し」が狙い。キャンペーンを精力的に行ない賛同する市民を集めて寄付やアイデアも募集する。

栃木

県内一高いタワーマンション

宇都宮市 再来年の春、同市に高

さ100m超の超高層タワーマンションが目前に。8月31日マンション事業のフジヤースホールディングス（本社・千代田区。廣岡哲也社長。厳密には同社傘下のフジヤースコーポレーションが担当）は、JR宇都宮駅西口から徒歩10分ほどの市中心部再開発地域に、高さ108m、地上31階、地下1階、総戸数238戸の超高層タワーマンション

「宇都宮PEAKS（ピークス）」を建設予定。もちろん県内最高層のタワーマンで、かつ同社にとっても初の試み。1～2階は店舗・事務所用3～30階が住居用となる模様。

超高層のタワーマンションは同社としては初めて。今後は不動産大手と競合を避ける形で人口20万人規模の地方都市を中心に、富裕層向け物件に力を入れる。

茨城

南極を疾駆した名車をレストア

つくば市 8月19、20の両日、市の「つくばエキスポセンター」で、1988～2007年に日本の南極観測隊の「足」として奔走した名車、「SM25S型」雪上車のレストア

（修復）車両が、その疾駆ぶりを復活。雪上車メーカーの大原鉄工（本社・新潟県長岡市。大原興人社長）が製造、装軌（キヤタピラ）式で観測・物資輸送に活躍。退役後、2011年に帰国し同センターで展示されていたが、駆動系などを修復、走行可能とした。

修理には元観測隊員が参画する「南極OB会茨城支部」が担当。大原鉄工も協力。

群馬

伊香保温泉と成田直結のバス

渋川市 11月1日から、同市にある著名な伊香保温泉と成田空港を結ぶ高速バスが発進。1日1往復で所要時間は約4時間50分、運賃は大人片道5200円（子供は半額）。すでに同空港・前橋・高崎間には約3時間40分で結ぶ高速バス「アザレア号」が1日10便、関越交通（本社・同市。佐藤俊也社長）と京成電鉄系の千葉交通（本社・成田市。飯島俊一社長）が共同運行、内1便を伊香保まで延伸する格好。海外渡航者へのPRと利便性アップを目指す。

千葉

千葉市マークが「初音ミク」に？

千葉市 同市の市章が8月31日の「1日限定」で、バーチャルアイドル「初音ミク」の特別デザインに变身。同市ホームページにアップされる予定で、同市の幕張メッセで9月1～3日に開催される「初音ミク」マジカルミライ2017に合わせた、粋なコラボだ。



千葉市
CHIBA CITY



千葉市
CHIBA CITY

千葉市の市章と「初音ミク」の市章（千葉市）

市章はもともと戦国時代に同地を治めていた千葉一族の家紋にちなんだもので、緑を基調に月星のデザインが特徴だが、この紋様が初音ミクの長いツインテールに似ていると、以前からネット上では話題で、実現した格好だ。

埼玉

市の音頭で西武電車での婚活企画

狭山市 8月4日、同市は市内を走る西武電車を使った婚活パーティーを企画すると発表、題して、「電車で恋する」さやまコン」。モノづくり企業を多く抱える同市は、そこで働く従業員や技術者を「モノづくりスト」として応援。そこで特に若い男性「モノづくりスト」と一般女性との出会いの場を提供し、地元への定住・移住を促進できれば、と企画を立案。

参加条件は男女とも25〜39歳だが、男性の場合、市内の製造業で働く者に限り、市内の各工業会を通じ募集人数は男女共に20名ずつ、参加費は3000円。10月1日開催予定で、臨時列車を仕立て、池袋駅―狭山市駅を往復。

東京

池袋に出現する野外劇場の全貌

豊島区 9月6日、同区は池袋西口公園整備事業の目玉として園内に新造される野外劇場の概要を発表。

2019年11月開園予定で、劇場にはリング状の屋根が設けられ、直径約40m、全高約10m、200席の座席を常設するが、最大1500人の観客収容が可能で、大型スクリーンなども設置できる。観光案内施設やカフェも併設予定で、11月には事業費や詳細な事業内容が公表される。

神奈川

AI駆使してタクシー配車

横浜市 9月4日、ディー・エヌ・エー（DeNA）は、同市内で人工知能（AI）を駆使したタクシー配車サービスの実証実験を9月12日〜10月末に実施、2018年1〜3月にサービスを開始すると発表。スマホ専用アプリを使いタクシーを指定の場所と呼んだり、クレジットカードでの料金支払いができたりなど便利さ追求。予約タクシーの現在位置もスマホで把握できる。

神奈川県タクシー協会などとの協力で、実験エリアは需要の多い同市中区、西区といった繁華街を中心に展開。期間中1000人の利用者を見込み、データを蓄積、需要予測などに挑む。

新潟

佐渡の市営温泉を民間払い下げ

佐渡市 経営不振に陥っていた同市にある市営の温泉施設「ワイドブルーあいかわ」がいよいよ民間譲渡される。8月31日、市側が具体的な日程などを公表、9月末までに市直営を終了、ボイラーなど温泉施設の改修を今年までに完了し、来年には民間事業者に経営をバトンタッチする計画。すでに市内の建設関連会社が事業引き継ぎに合意、土地は約4000万円で売却されるが、建物や温泉設備、源泉権利は無償譲渡される模様で、また改修工事約7600万円も市側が負担する運び。

山梨

国産ワイン140周年を祝して

甲州市 8月31日、キリンビール傘下のメルシャン（本社・中野区。代野照幸社長）が同市勝沼地区に有する醸造所「シャトー・メルシャン」で仕込み式などの記念式典が開催。同醸造所は1877（明治10）年、「大日本山梨葡萄酒会社」（現・メルシ

静岡

キタオットセイの赤ちゃん誕生

沼津市 8月15日伊豆箱根鉄道グループが運営する伊豆・三津シーパラダイスでキタオットセイの赤ちゃん

ヤン）として旗揚げ、国産ワイン第1号を誕生させた。同市はこれをPRと観光誘致につなげようとイベントを企画、9月30日まで、近代産業遺産の「宮光園」で、勝沼ワイン140年記念収蔵展が開かれるのを皮切りに、記念セミナーやワイナリーを訪ねるツアーなども企画。



キタオットセイの赤ちゃん（伊豆・三津シーパラダイス）

んが誕生。体長約60cm、体重約4・7kgの「お嬢ちゃん」。ちなみに大人に成長すると体長約1・4m、体重約50kgに達すると言う。

キタオットセイは東日本沿岸沖や北太平洋地域に棲息。日本では馴染み深い海獣。

長野

本造の旧軽井沢駅舎が復活!?

軽井沢町 8月30日、しなの鉄道（本社・同県上田市。玉木淳社長）は、同社創立20周年事業として、1996年に取り壊された本造の旧軽井沢駅舎を今年10月27日に「復活」として発表。同町が同駅前に建設した（旧）軽井沢駅舎記念館と「休日、新改札口やホーム直結の通路を施し、駅舎として「現役復帰」。同社が進める同駅のリニューアル計画「駅ナカ」プロジェクトの一環で、「デッキ広場ゾーン」3階改札口ゾーン」も併設、「森の小リスキッズステーションin軽井沢」（仮称）と呼ぶ大規模構想だ。トータルデザインはJR九州の豪華列車「なつ星in九州」を手がけた著名デザイナー、水戸岡鋭治氏が担当。

岐阜

定住と創業をサポートする拠点

恵那市 8月29日、同市は「恵那駅前」に「恵那くらしビジネスサポートセンター」を旗揚げ。既存の「ビジネスサポートセンター」と「暮らしサポートセンター」を融合。住民からの生活の課題や定住・移住を考える人達の悩みをワンストップかつ無料相談で対応。人口減に歯止めをかけるのが狙いで、一時金受給や空き家の斡旋、あるいはハローワークと連携した就職支援、専門家による経営指南なども用意。

愛知

「ふじ」の床屋が理容遺産に

名古屋市長 同市港区の名古屋港が「デン埠頭にある博物館」「南極観測船ふじ」内に再現された理容室が、「理容遺産」に認定。8月28日授与式が行なわれた。全国理容生活衛生同業組合連合会（本部・渋谷区。大森利夫理事長）が主催するもので、1965（昭和40）年から18年間活躍した「ふじ」の「床屋」を忠実に

富山

市電の駅がドラえもん一色に

高岡市 9月3日、同市内を走る路面電車・万葉線の貴志野中学校駅でラッピング、その完成披露式典が開催。「藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」が設けられている同市美術館の最寄駅で、「ドラえもん」の作者、藤子・F・不二雄氏は同市出身。同路面電車では「ドラえもん ترام」が運行され今年5周年を迎えるための記念事業でもある。

石川

新ブランド米は「ひやくまん穀」

石川県 8月31日、同県は9年の歳月を費やして完成させた新品種米のブランド名を「ひやくまん穀（ひやく）」と決定。全国約9500通の公募から選定、「加賀百万石」のスケールの大きさやインパクトが決め手に。「ひやくまん穀」は大粒が特徴で、既存の「コシヒカリ」に比べ、米粒は約1・2倍。「もっちり」感

福岡

市公認キャラがLINEスタンプに

敦賀市 8月25日、同市は市公認のキャラクター「よっしー」をスマホ無料通信アプリLINEで使用するスタンプとして販売を開始。全40種類で価格は120円。敦賀城主の大谷吉継をモチーフしたもので、昨年のNHK大河ドラマ「真田丸」などで人気が高まっていることから、これにあやかり市の認知度アップにつなげるのが狙い。



LINEスタンプとして登場した「よっしー」（敦賀市）

三重

ジャズドリーム長島が巨大に

桑名市 9月25日、同市の長島温泉地区にある巨大ショッピングモールの「三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島」がさらに巨大になって新装開業。三井不動産（本社・中央区。菰田正信社長）と、同地でテーマパーク「ナガシマリゾート」を手がける長島観光開発（本社・桑名市。水野正信社長）のコラボ事業で、同リゾートの一翼を担う形で2002年「滞在型リゾートアウトレット」として誕生。今回の大規模リニューアルでは、新規出店100店舗、移転リニューアル47店舗を含む



「三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島」(三井不動産)

店舗数302店舗、店舗面積約4万5700㎡となり、名実ともに日本最大のアウトレットとなる。

奈良

春日大社が特別なご朱印授与

奈良市 9月1日、同市の春日大社は来年末までの期間限定で朱印を授与。来年1250年（創建は768年）を迎えるための記念で、「平成三十年御創建千二百五十年」と記され、社紋の「下がり藤」やシカも描かれている。

滋賀

食品ロス削減で県が本気度発揮

滋賀県 「環境県」を自負する同県はその沽券を懸け、「食品ロス」の大幅削減に挑戦。8月18日に「県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」を設立、有識者や県内の飲食・宿泊業関連団体や小売企業などが参加、同運動に積極的に取り組む食糧施設、スーパー、飲食店などを「三方よしフードエコ推奨店」として4認定、「量少なめ」メニューの提供や、完食者への特典、さらには買い過ぎ

京都

プロバスケットボールと女子野球とコラボ

を防止する「量り売り」や、レジ袋の浪費を防ぐ「マイバッグ」の使用拡大などを呼び掛けて行く。

京都市右京区 8月21日、同区はプロバスケットボール・Bリーグ1部の京都ハンナリーズと女子プロ野球の京都フローラとパートナーシップ協定を締結。今後選手やマスコット・キャラクターのイベント登場や試合への区民招待・優待デーの拡充バックグラウンドツアーの企画などを展開、地域活性化やスポーツ振興PRを図る。両チームは同区の西京極総合運動公園内の各施設をホームベースとしており、以前から同区と連携関係にある。

大阪

市長専用車をヤフオクに出品!?

柏原市 今年2月市長に初当選、「次世代にツケを回さない市政運営」をスローガンに掲げる富宅（ふけ）正浩氏（41）が、これまで市長専用車として使用していた黒のクラウン

和歌山

自転車電動二輪に早変わり

和歌山市 自動車向け電装関連、カー用品を製造・販売するファイントレーディングジャパン（本社・同市。鳴海慎造代表取締役）は、電動二輪としても、自転車としても使えるハイブリッドバイク、「GFR-01」を開発。10月からカー用品販売大手のスーパーオートバックスで予約販売を行なう。同車は折り畳んで車載でき、ペダルだけの走行（自転車）、モーター補助走行（アシスト自転車）、モーターだけの走行（電動二輪の3つの顔を持つ。最高速度は時速33kmだが、原付1種免許が必要。量産は中国で行なう。クラウンド・ファンディングで1億円以上の資金調達を達成したのも注目だ。

兵庫

地元老舗百貨店ラオックスが買収

姫路市 8月31日同市に本拠を構える老舗百貨店ヤマトヤシキ(早瀬恵三代表取締役)を、免税店大手で中国・蘇寧電器の傘下のラオックス(本社・港区。羅怡文社長)が買収したと発表。ラオックス側はヤマトヤシキの新株予約権つき社債を4億円、新株予約権を3億円それぞれ取得、議決権の79%強を事実上掌握した。ヤマトヤシキは1903(明治39)年開業の洋品雑貨店「米田まけん堂」がルーツ。戦後百貨店へと拡大、姫路、加古川の2店舗を擁し同県播磨地域でブランド力を保持。だが2000年代後半から経営が悪化、2014年に投資ファンド「マイルストーンシアラウンドマネジメント」に経営権を移譲、2015年には事業再生ADRも成立、創立家の米田一族は経営の一線から退いた。なおブランド名を存続させる模様で、当分は商品供給などで連携。また姫路店は中国人観光客にも人気の姫路城に至近なことから免税店事業をメインにビジネス拡大を目指す模様。

岡山

スポーツチームがマンホールでPR

岡山市 8月31日、同市は、市内を拠点に活動するサッカーJ2の「フアジャアノ岡山」と、女子バレーの「岡山シーガルズ」をPRする一環として、デザインマンホールを設置する事業をスタート。JR岡山駅から両チームの本拠地である県総合グラウンド(同市北区)までの歩道約1kmにある10カ所の既存マンホールと交換。事業費は約330万円。

広島

クロネコが県民サービスを支援

広島県 8月29日、ヤマトホールディングス(本社・中央区。山内雅喜社長)と、同社傘下の事業会社、ヤマト運輸(本社・同。長尾裕社長)は、9項目の分野で同県と包括的連携協定を締結。観光振興や防災、少子化対策、高齢者の見守り、県特産品の海外への出品支援、引越しサービスを活用した家具家電の転倒防止用品の無料設置、配達時の高齢者への声かけなどで連携し合う。

鳥取

小型電気自動車での観光実験

岩美町 8月28日、同県とトヨタ車体(本社・愛知県刈谷市。増井敬二社長)などは、観光誘致の目玉として超小型電気自動車(EV)「コムス」を訪日外国人客などに貸与する実験を実施する協定を締結。期間は2018年から2年間で、同町の浦富海岸遊覧船乗り場に同車と電動アシスト自転車等各10台配備。双方には多言語対応で観光案内が流れる装置を配した点も注目。

島根

地元が生んだ偉人達の記念館

松江市 9月1日、同市雑賀町に完成した「松江先人記念館」が一般公開。昭和初期の激動期に首相を2度務めた若槻禮次郎氏や、「近代日本スポーツの父」と称された大日本体育協会(現日本体育協会)の第2代会長の岸清一氏ら地元ゆかりの7名の偉人を紹介。各人の業績を紹介する大型パネルや、若槻自筆の書状なども展示。入館料は無料。

山口

大和ハウスが産業団地を開発

防府市 8月22日、大和ハウス工業(本社・大阪市北区。大野直竹社長)は、同市と産業団地造成の協力協定書を締結、市内に産業団地(面積約20万㎡)を構築する発表。投資額は約90億円、土地造成完了は2019年を見込む。山陽自動車道防府西インターチェンジから7km程と至便で、半径5km以内にはマツダ防府工場など多くの工場も控え、工場や物流倉庫などの需要を期待する。



広島県とヤマトとの包囲的連携協定締結式に臨む、湯崎英彦県知事(中央)と、木川真ヤマトHD会長(右)、黒岩俊也ヤマト運輸執行役中国支店長

香川

上水道事業を一本化

高松市 8月30日、同県と県内16市町は、水道事業を2018年4月に統合する基本協定書に署名。都道府県レベルで上水道事業を一本化するの全国初。

人口減少に備え、水道施設の効率化が狙いで、今後10年間で約1300億円を投入、老朽化設備の刷新や耐震化対策を推進。なお、現在各市町間では最大1・6倍もの水道料金格差があるが、これも2028年度に統一の予定だ。

愛媛

韓国の格安航空会社が乗り入れ

松山市 8月21日、同県は松山—ソウル（仁川）間の国際線に、韓国の格安航空会社（LCC）、チェジュ航空が11月2日から定期便を開始すると発表。同航空が日本の地方空港に就航するのは初。

韓国の若年層をターゲットに、サイクリングなどの体験型観光の需要を見込んでいる。

徳島

JR四国に新型特急が目見え

徳島市 8月11日、JR四国（本社・高松市。半井真司社長）は、新型ディーゼル特急車両「2600系」（4両編成）の発表式を徳島駅で開催。高徳線の高松—徳島間を走るが、新型車両は同社にとって3年ぶり、また新型ディーゼル車は28年ぶり。同車両は8月12日に開催された同市の阿波踊りに伴う臨時列車としてデビュー、年内には既存の2000系の後継として本格運用予定。



2600系（JR四国）

高知

全国初の「ジビエカー」

梶原（ゆすはら）町 8月12日、同町は野生鳥獣の狩猟肉（ジビエ）をすぐさま衛生的に精肉にするための移動式解体処理車「ジビエカー」を導入。全国初の試みて、日本ジビエ振興協会（本部・長野県茅野市。藤木徳彦理事長、フジキ社長）と、長野トヨタ自動車（本社・長野市。宇都宮進一社長）の共同開発で、肉を吊るすクレーンや、高圧洗浄機、冷凍室を完備。同町ではシカ、イノシシの増加で農作物への影響が深刻化、合わせて年間約1500匹を捕獲。ジビエの販売経路の整備と安心・安全を高めることで、災い転じて「ジビエグルメの町」としてアピールする目算だ。

福岡

北九州空港が大規模な化粧直し

北九州市 北九州空港内の建物を運営する北九州エアターミナル（本社・同市小倉南区。片山憲一社長）は、空港施設の大規模改修を実施、

年間利用者数を現在より4割アップの200万人にする計画を発表。2006年の開港以来初の大規模な「化粧直し」で、2018年2月に着工予定で投資額は5〜6億円を予定。国際線用のチェックインカウンター増設や搭乗エリアの拡張などが骨子で、近隣の福岡空港を補完する役目も果たす。

佐賀

「暮らしやすさ」で全国1位

佐賀市 7月5日、野村総合研究所本社・千代田区。此大臣吾社長）は国内100都市を対象にした「成長可能性都市ランキング」を発表、「都市の暮らしやすさ」ランキングで同市が1位に輝いた。都市の今後の成長性を131の指標で分析し数値化したもので、同市が他都市と比べ住宅価格や物価が安く、また生活の満足度や人口当たりの医療機関数などが高い点が評価された。

長崎

千々石ミゲルの木棺発掘か

諫早市 9月4日、別府大学など

の調査グループは、天正遣欧少年使節団の1人、千々石（ちぢわ）ミゲルの墓とされる石碑付近で木棺を発見、人間の歯や首飾りの玉が出土したと発表。千々石ミゲルの物と確認されれば、初の天正遣欧使節墓石発見という快挙となる。今後、専門家による鑑定を急ぐと共に骨や副葬品の発掘も進めて行く。

大分

「コーヒーせんべい」を販売

別府市 8月16日、コーヒー関連用品を製造・販売する三洋産業（本社・同市。中塚茂次社長）と別府温泉宣伝協会は、共同開発した「油ハ珈琲煎餅」の発売を開始。別府観光の父として地元で愛される油屋熊八に敬意を表した菓子で、明治後期、熊八が当地で経営する「亀の井旅館」で、当時珍重されていたコーヒーをいち早く提供していたことにちなむ。5枚入り4パックで1000円。

熊本

サントリーが九州限定天然水発売

嘉島町 9月14日、サントリーの

グループ企業・サントリー食品インターナショナル（本社・中央区。小郷三朗社長）は、主力製品であるミネラルウォーター「サントリー天然水」の初のエリア限定商品となる「サントリー熊本の晩柑&阿蘇の天然水」を発売。同町にある同社工場は昨年の熊本地震で被災したがこのほど復旧、これにちなんだもので、同県産の「河内晩柑」を使用しハチミツをブレンド。価格は540mlで124円。

宮崎

キャノンが新工場を建設

高鍋町 9月8日、キャノン（本社・大田区。御手洗富士夫社長）のグループ企業・宮崎キャノン（本社・宮崎県木城町。桑原初美社長）は、同町と新工場進出に関する協定に調印。

同町大学キャパス跡地約30haにデジタルカメラ工場を建設するもので、ロボットによる自動化ラインを導入、用地買収など投資額は約35億円で、うち5億円は町が負担する模様。2019年8月稼働を目指す。同社が2000年代半ば頃から進める生産

拠点国内回帰戦略の一環。これまでデジタルカメラは中国広東省や台湾での製造を主軸にして来たが、中国では人件費高騰や労働争議、政治状況などリスクが顕在化、大分や長崎など九州に製造拠点を軸足を置きつつある。

鹿児島

JALが県産焼酎をPR

鹿児島県 8月22日、日本航空（本社・品川区。植木義晴社長）は、今年秋からスタートする同県産焼酎の販路拡大キャンペーンで、重点的にPRしていく6銘柄を発表。「芋」「黒糖」「麦・米・その他」の3種で、それぞれ順に大山酒造（本社・伊佐



JAL販路拡大キャンペーンに選ばれた「銘酒」達。左から「伊佐大泉」「太古の黒うさぎ」「田苑シルバー」(JAL)

市。大山哲彦代表社員）の「伊佐大泉」、弥生焼酎醸造所（本社・奄美市。川崎洋三代表取締役）の「太古の黒うさぎ」、田苑酒造（本社・薩摩川内市。本坊正文社長）の「田苑シルバー」がグランプリを獲得。10月から羽田、成田両空港の国際線ラウンジで提供される。同キャンペーンは地域活性化支援を目的とする同社の「JAL新・JAPAN PROJECT」の一環で、昨年度から九州本格焼酎の応援活動を展開、第1弾の宮崎県に続き今回は2回目。

沖縄

那覇臨海地区を貫く道路完成間近

浦添市 8月28日、沖縄総合事務局南部国道事務所は現在建設中の国道58号浦添北道路に最後の橋桁を設置。今年度中には那覇空港～沖縄コンベンションセンターが開通予定で、車での所要時間は約9分短い24分になる模様。

国道58号線の慢性的な渋滞が大幅に緩和される他、空港と港湾を直結する産業道路でもあるため、アジアの物流ハブを標榜する沖縄本島にとっても重要なインフラとなる。